

一般社団法人茨城県環境保全協会

協会だより



2022年(令和4年)度
第8号(通巻第101号)

2022年11月1日発行

一般社団法人茨城県環境保全協会

発行担当 広報委員会

水戸市平須町1825-192 平須ビル202

TEL 029-303-6007

FAX 029-303-6008

URL <http://www.kankyo-ibaraki.com/>

Mail info@kankyo-ibaraki.com

日本環境保全協会 関東地区協議会秋季研修会を開催



(一社)群馬県環境保全協会、埼玉県一般廃棄物連合会、(一社)千葉県環境保全センター、(一社)東京環境保全協会、三多摩清掃事業協同組合、神奈川県環境整備事業協同組合、(一社)茨城県環境保全協会の8団体で構成されており、今回の研修会には所用により欠席の(一社)東京環境保全協会を除いた7団体が参加し、新型コロナウイルス感染症がやや落ち着きを見せている中で3年ぶりの開催となりましたが、それでも油断は出来ず、今回も参加人数を限定して開催しました。

ついてご説明をいただきました。

当日ご出席を賜りました水環境室長の河原井様、同じく水環境室主任の大野様、お忙しい中ありがとうございました。

続いての講演は、昨今話題に上る機会が多い県の魅力度ランキングにおいて最下位周辺で推移している茨城県にも魅力がたくさんあるということを知っていただくために、茨城観光マイスター制度(県民が一体となって「おもてなし日本一」を目指す、「いばらき観光おもてなし推進条例(平成26年11月施行)」を踏まえ、県民一人ひとりの観光知識や接客スキルの向上を目的に、県内の観光に関する知識とおもてなしの心を有する方を、試験を実施したうえで、「いばらき観光マイスター」認定する制度)の中でも、十分な観光知識に加え、おもてなしの心による高い接客スキルを備える方としていばらき観光マイスター認定者に対し、模擬面接による接客試験を実施し、合格した方が認定される「S級」をお持ちの、茨城プロダクション代表大澤幸子様には「茨城の知られざる観光の魅力、大人の観光旅」というテーマで、これからシーズンを迎える県北地域の紅葉をめぐりながら食や宿泊の楽しみ方について、明るく分かり易いご説明をいただきました。

研修会は幹事県である当協会の岡



茨城県県民生活環境部環境対策課水環境室 河原井室長



茨城プロダクション代表 大澤幸子様

10月12日(水)水戸市の京成ホテルにおいて2022年度日本環境保全協会関東地区協議会の秋季研修会を開催しました。

及び10月の研修会という2回の行事を通じて、関東地区の活動状況などの情報交換を行っており、今回は当協会が幹事県で開催しました。

島理事長の挨拶で開会し、まずは茨城県県民生活環境部環境対策課水環境室長の河原井様より「茨城県の浄化槽行政」についてご講演をいただきました。

講演では、茨城県の置かれている住環境や水環境についての説明から、茨城県としての人口分散地における浄化槽の役割などに始まり、浄化槽に対する補助事業や一括契約の推進など、当協会とも歩調を合わせて取り組んでいる内容等に

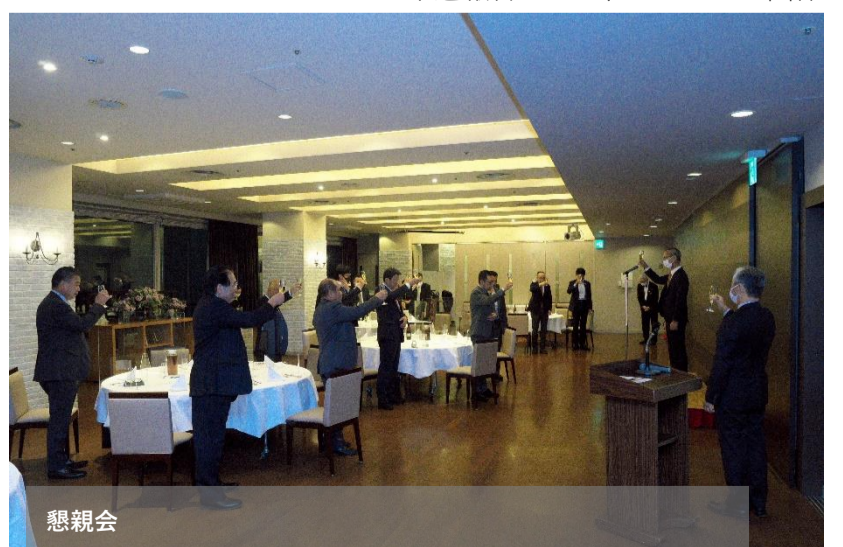
関東地区協議会では毎年5月の総会

この協議会は、栃木県環境保全協会、

その後休憩をはさみ、参加7団体からの県連報告となり、それぞれの団体



各県連報告



懇親会

で現在重点的に活動を行っている内容などについて報告がありました。当協会では、現在進めている県内各市町村との災害協定や、発行以来100号となった協会だよりなどについて説明を行いました。

研修会後には、やはり3年ぶりとなる懇親会を開催して、参加者間で情報の交換を行いました。

浄化槽トップセミナーへ参加

10月13日(木)水戸市のホテルレイクビュー水戸で環境省主催の「浄化槽トップセミナー」が開催され、当協会からは池田副理事長及び秋山前理事長が出席しました。

このセミナーは、環境省が主に市町村長、市町村議会議員等の地方公共団体の政策決定に携わる方や浄化槽等行政関係者を対象に、経済的・効率的な生活排水処理施設としての浄化槽の特徴やメリットについて普及啓発し、地域の実情にあった生活排水処理施設の整備が促進されるよう、皆様に理解を深めていただくためのイベントです。

後援団体は、茨城県・茨城県議会・茨城県市長会・茨城県市議会議長会・茨城県町村会・茨城県町村議会議長会であり、協賛団体は、(公社)茨城県水質保全協会・(一社)全国浄化槽団体連合会・(公社)日本環境整備教育センター・(一社)浄化槽システム協会・全国浄化槽推進市町村協議会・茨城県浄化槽普及推進市町村協議会・(一社)茨城県環境保全協会となっております。

内容は、環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課浄化槽推進室長 沼田 正樹様による「これからの浄化槽について」をはじめとした4本の講演会で、参加している各市町村の浄化槽担当部署の皆様が熱心に聞き入っていました。



浄化槽の日の展示について



昭和60(1985)年10月1日、浄化槽に関する諸制度を整備した「浄化槽法」(昭和58年5月18日公布・法律第43号)が全面施行され、それを記念して、昭和62年に当時の厚生省、建設省及び環境庁の3省庁の主唱により、毎年10月1日を「浄化槽の日」とすることとなりました。

茨城県においても、10月初旬に県庁2回ロビーにおいて、趣旨に則った展示が行われ、当協会でもミニチュアの浄化槽や新しく作成したのぼりなどを展示しました。

10月度定例役員会の開催

10月12日(水)関東地区協議会秋季研修会開催前の午後1時より10月度の定例役員会を水戸京成ホテルにて開催いたしましたので、当日の議事内容等についてご報告いたします。

出席理事

岡島理事長 長塚 池田副理事長 秋山 小林 石井 繁藤 犬塚 樋口理事(理事13名中9名出席) 佐藤監事

協議事項

①協会だより及び増刊号について

協会だより10月号の内容について広報研修委員会より提案があり承認されました。また、協会だよりが10月号で100号となりましたので、これまでの歩みをまとめた増刊号を作り承認されました。

県内全ての市町村、県の関係機関に無料配布しています。もし、ご希望の関係者の方がいましたら当協会までご連絡下さい。

②賛助会員について

茨城日野自動車株式会社より賛助会員の入会の申込みがあり承認されました。会員の皆様の営業所に訪問されることもありますので宜しくお願い致します。

報告事項

①次世代育成委員新規会員について

(株)和城産業の犬塚正一(いぬづかまさかず)さんが次世代育成委員会に入会されました。

②災害協定について

(参考)10月度大子町支援業務実績表

曜日	会社名	運搬重量(kg)
3(月)	北茨城市企業衛生	3,700
	石岡興業	5,200
4(火)	マカベクリーン	3,600
		3,600
5(水)	博相社	4,500
		3,000
6(木)	玉里クリーン	3,600
	磯原清掃サービス	2,700
7(金)	富士企業	7,500
11(火)	セイコー	3,700
	久松商事管理サービス	3,600
12(水)	アミックス	3,700
		3,700
13(木)	北茨城市企業衛生	3,700
	水戸環整センター	3,700
14(金)	八郷衛生	3,500
		3,700
17(月)	丸越産業	3,000
	ニヤマクリーンサービス	3,700
18(火)	久松商事管理サービス	3,600
	磯原清掃サービス	2,700
19(水)	山本環境開発	7,500
20(木)	玉里クリーン	3,600
	磯原清掃サービス	2,700
21(金)	北茨城市企業衛生	3,700
	セイコー	3,700
24(月)	石岡興業	5,200
	丸越産業	3,000
25(火)	クロサワクリーンサービス	7,500
26(水)	久松商事管理サービス	3,600
	千代田衛生	3,500
27(木)	玉里クリーン	3,600
	セイコー	3,700
28(金)	新生環境整備	7,500
31(月)	マカベクリーン	3,600
	八郷衛生	3,700
期間合計		145,800

て(笠間市)

10月6日に災害協定について秋山理事と東ヶ崎事務局長が笠間市を訪問し、災害協定について協議しました。

以上の内容で役員会を行い、約1時間で終了いたしました。

